

中央小学校だより



平成30年 12月 13日 中央小学校学校通信

急に寒くなりましたが、保護者や地域の皆様、ご健康でいらっしゃいますか？子どもたちも、ややかぜ気味の子はいるものの、残り少ない2学期を活動的に過ごしています。朝の登校の様子を見ると、手袋や暖かそうな帽子が目立つようになってきました。今年の冬は暖冬だという話も聞きますが、やはり12月らしい寒さは身にしみます。

寒い中でも、子どもたちは休み時間に外で元気に遊んでいます。そんな中の取り組みを2つ紹介します。

「スマイルあそび」楽しかったね！

12月10日月曜日に今年3回目のスマイル活動がありました。1年生から6年生までの縦割り班（通年）での外遊びでした。このスマイル活動は年間4回ほど計画しています。各班の6年生が、何をしたらみんな仲よく楽しめるかを大切にしながら、活動内容を考えてくれています。今回は、大きく分けてドッジボールとおにごっこ（かわりおに・ケイドロ・かくれおに）でした。「赤白帽子がいるよ」「ルールは集まってから説明するよ」など、段取りや、当日リーダーシップをとるのももちろん6年生です。そんな姿を見て、下級生が育っていくのだと思います。時間的には25分休みを利用します。

「もっとやりたいな・・・」と後を引くちょうど良い時間設定だと思います。早く集まらないと時間がなくて楽しめないし・・・集まってもちゃんと6年生の話を聞かないと、ゲームが始められないし・・・リードする方もされる方も、「時間内で楽しむ」ことを目標に、いろいろ振り返ることができる活動です。だんだん上手に遊べるようになっていきます。来年のスマイル活動にも期待したいと思います。

また、「大スマイル活動」というものもあります。毎年落ち葉の季節になると、子どもたちと職員が全員で落ち葉を集めます。今年は天候の悪い日と重なり、延び延びになっています。落ち葉が学校外へ舞っていき、地域の皆様のご迷惑になっているかと思いますが大変申し訳ありません。14日（金）に行う予定です。



なわとびチャレンジはじまるよ！

本校の学校づくりビジョンの重点の3に、「健康・体力の向上」があります。その取り組みの一つにこの寒い時期の「なわとび」があります。12月から1月にかけて体育の授業でも扱い

ますが、ここで紹介する取り組みのねらいは、「体力の向上」はもちろんのこと、「目当てを持って、それを達成するために、継続して練習する意欲を高める」ことと、「友だちとのかかわりを深める」ことを挙げています。

火曜日と木曜日の25分休みを利用して、12月11日に第1回目のチャレンジタイムを行いました。短なわと長なわを1回交代で取り組みます。この日は短なわの練習で、各自で練習をした後で、ペアの友だちが回数を数えて、なわとび



カードに記入をしました。子どもたちは嬉々として練習していました。なわとびカードにはいろいろな跳び方が挙げ



られています。この取り組みを通して、跳び方のバリエーションを増やすだけでなく、連続跳びの回数もどんどん更新してほしいと思います。なわとびは、公園でも、庭先でも、手軽にできる運動です。筋力や、瞬発力を付けるため

に、ぜひ冬休みも目標を持ち継続して練習してほしいと思います。

長なわの取り組みは、どんな跳び方で、何回を目指するか、クラスで模索します。そして息を合わせて練習し、目標を達成したら次の目標に向かって取り組みます。クラスの友だちどうしの信頼関係や団結力が高まり、きっと様々なドラマを生むことでしょう。「昨日の自分を超越る」「昨日の自分たちを超越る」そんな気持ちで頑張してほしいと思っています。

四日市公害に学ぶ

11月7日（金）に5年生が、「四日市公害と環境未来館」へ見学に行きました。5年生は、社会科を中心に、環境学習を継続的に行ってきました。その中一環として四日市公害の学習も位置づいています。

中央小学校の学校区でも納屋地区を中心に公害に苦しんだ方々がたくさんみえたと聞きます。今でこそ、四日市市はたくさんの人々の研究や努力により、青空が戻り、海もきれいになりましたが、四日市ぜんそくを患って見える方がまだいらっしゃるというお話を未来館で語り部の方から聞かせていただきました。四日市公害という「負の遺産」から学ぶことは多いと思います。これからの未来を担う子どもたちが、この学習によって、「自分は、環境を守るために何ができるのか」「何をしなければいけないのか」をしっかりと考え、生活に活かしていく取組を行うことを期待しています。そして、私たち大人も生活していく中で、「四日市市の住人なのだ」もっと言えば、「地球人」なのだという意識を持つことが大切であると思います。

